

# 病害虫発生予察指導情報

## (ナシ・クワコナカイガラムシ No. 1)

平成28年4月25日  
鳥取県病害虫防除所

### 1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化開始は、平年より11日早い4月23日（平年：5月4日）に認められました。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底して下さい。

### 2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化\*開始は、平年より11日早い4月23日（平年：5月4日）に認められた。
- (2) 今後の気象経過などから、越冬世代幼虫のふ化最盛日は4月30日前後（平年：5月11日）と見込まれる。

\*クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化は、百葉箱内（園試）で観察。越冬卵をシャーレ中央に静置し、越冬卵周囲に粘着物質を塗布、その粘着物質に捕獲された幼虫数を計数。

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代及び第2世代よりふ化時期が揃いやすいので防除を徹底する。
- (2) 昨年度多発した園等では、5～7日間隔で以下の時期を目安に2回の防除を行う。
  - ・幼虫ふ化最盛期 4月 30～ 5月4日
  - ・幼虫ふ化終期 5月 5～ 9日
- (3) 薬剤はスプラサイド水和剤1，500倍液、アプロード水和剤1，000倍液などを使用する。
- (4) 薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (5) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。